

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	当院における子宮動脈塞栓術の検討
研究期間	2022 年 7 月 12 日 ～ 2023 年 12 月 31 日
対象患者	2018 年 11 月～2021 年 1 月の間に当院で子宮動脈塞栓術を行った子宮筋腫の患者さん
調査対象期間	子宮筋腫のため子宮動脈塞栓術を決定するに至った MRI 撮影日から、子宮動脈塞栓術後 1 年の MRI 撮影および結果説明の受診まで
研究機関の名称	島根県立中央病院
当院研究責任者	産婦人科 奈良井 曜子
意義・目的	子宮筋腫は過多月経や月経困難症、腹部膨満感、排尿障害、便秘などの症状をきたし、女性のQOLを低下させる病気です。治療法として、外科的切除、薬による治療や逃げ込み療法などがありますが、手術は侵襲が大きく、また薬では根治性がなく一時的な治療です。 子宮動脈塞栓術（UAE）は低侵襲治療であり、子宮動脈の栄養血管を塞栓することで子宮筋腫の壊死・縮小を図り、症状緩和が期待できます。今回、子宮筋腫の治療としてUAEを施行した患者さんを後方視的に検討し、UAEの治療効果・合併症・患者満足度などの傾向からUAEの有用性を検討するために研究を行います。
研究内容	電子カルテより、「利用する試料・情報の項目」の情報を収集します。 子宮筋腫に対してUAEを施行した患者さんの筋腫のサイズや症状の変化、満足度などを検討します。 研究結果を公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。
利用・提供する試料・情報の項目	研究対象者背景： 識別コード、年齢、身長、体重、既往歴、妊娠・分娩歴、現病歴、入院日数、UAE後の転帰・合併症・満足度 等
試料・情報の他機関への提供有無	☐あり 提供方法： 海外の機関への提供 ☐あり・☐なし ☒なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表予定。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

研究責任者：産婦人科 奈良井 曜子

電話：0853 - 22 - 5111
